



基山っ子

基山町立基山小学校 学校だより
第16号 令和4年 1月31日
☎92-2431 文責 校長 福山 信代

学校教育目標「きたえ やりぬき まなびあう」

～心も体も元気で、前向き！未来を拓く基山っ子の育成～



佐賀県学習状況調査12月調査をふり返って



佐賀県は、12月、4～6年を対象に国算(6年は社理も含む)の調査を行っています。(4～6年の保護者の皆様へは、お子様の結果を個票でお届けしております。)本調査の目的は、一人一人の学習の定着や課題を把握し、授業や取組の充実や改善に反映させて学力向上を図ることです。本校は、どの学年も全ての教科において県正答率を上回るという大変良い結果でした。特に、5、6年の算数は県の基準を9～10ポイント上回っており、これまでの地道な積み重ねが実を結んでいると嬉しく思いました。

この結果の土台は、家庭や地域のご協力のもと、児童が落ち着いた学校生活を送り授業に向かうことができること、宿題などの家庭学習もきちんとできる環境にあることだと考えます。土台が安定しているからこそ学習に集中できるのです。ありがとうございます。調査結果を詳しくみると、学年によって例えば国語では「読む」「情報の活用」「要点を捉える」等が若干弱かったです。現在は、PDCAサイクル、Plan(計画)、Do(実行)、Check(結果分析)、Action(取組見直し)のAの時期に当たり、結果を考察し、各学年でそれぞれの課題補充に力を注いでいるところです。

コロナの大波をかぶりながら



オミクロン株による第6波は、ワクチン接種対象でない小学生や、マスクも付けられないもっと幼い子供たちにも押し寄せてきました。学校においては、改めてマスク(特に不織布マスク)の着用や手指消毒、教室の換気など、基本的な感染予防策をより一層徹底をしています。喉の痛みと違和感だけで陽性になった事例もありました。ご家庭での健康観察をより注意深く行ってくださるようご協力願います。

陽性者が出ても、そのクラスの子供たちがマスクを付け、水が冷たくてもしっかり手洗いをし、黙食等のルールを頑張ってお守りしてくれているお陰で、教室で感染が広がることが押さえられています。また、このような非常時、保護者の皆様は、学級閉鎖に伴う急なお迎え要請に迅速にご協力くださいます。閉鎖になったクラスのある保護者様は、『「悪いのはコロナ！陽性になった子供は悪くないんだよ」と我が子に言ってます』と話してくださいました。基山っ子や保護者の皆様に救われる気持ちです。

おいしい給食ありがとうございます！学校給食週間(1/24～30)

この期間、給食の意義、成り立ち等を改めて知り、給食への関心を高めるため、本校でも、栄養教諭を中心に様々な取組をしました。写真は、給食委員会制作の動画(給食の歴史や役割について劇風に紹介)を、子供たちが視聴している場面です。

給食も、基山の郷土料理「ぐつぐつ」や基山学校給食発祥の「鶏肉のレモン煮」(とても美味しい人気メニューです!)、九州各県の郷土料理等、わくわくの献立が続き日々楽しみでした。しかし、作ってくださる給食センターの皆さんは大変だったことでしょう。子供たちは、給食センター見学や説明を通して、給食に関わってくださる方々に思いを馳せ、感謝の思いを手紙に綴っていました。

